第4次総合計画　管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度　平成30年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成

管理事業	まちづくり計画事業	2　枚のうち　1　枚目

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
①　まちづくり活動支援事業	都市計画室	まちづくりのルール化を目指す自治会等の団体の活動を支援するために、職員およびアドバイザーを派遣する。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成　30　年度 （千円） 149	■　市民ニーズ、社会的役割 □　有効性 □　効率性 □　公平性 ■　持続可能性 ※課題があるものは■	・地域の特性を活かした市民主体のまちづくりを推進するため、アドバイザーの派遣や職員による出前講座の実施などにより、まちづくりに関する情報の提供や活動の支援を行っている。更なる地域特性を生かしたまちづくりを推進するための手法については検討する必要がある。	継続

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
②　景観まちづくり推進事業	都市計画室	開発事業等の指導・誘導、啓発・支援等、良好な景観の形成を目指し、「景観まちづくり条例」に基づく総合的、体系的な景観行政を推進する。また、屋外広告物条例制定に向けての取組を行う。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成　30　年度 （千円） 25,023	□　市民ニーズ、社会的役割 ■　有効性 □　効率性 □　公平性 □　持続可能性 ※課題があるものは■	・制度や取組について、市民・事業者への周知、理解、意識向上に向けてより積極的に事業を推進し、取組への評価を行う必要がある。 ・景観まちづくり推進に向け、公共事業についても、庁内関係部局への啓発、情報共有、連携が必要である。	継続

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
③　都市計画マスタープラン事業	都市計画室	都市空間の将来像の実現に向け、都市計画マスタープランに基づいて、各種都市計画を決定し又は見直すことにより、計画的なまちづくりを推進する。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成　30　年度 （千円） 0	□　市民ニーズ、社会的役割 ■　有効性 □　効率性 □　公平性 □　持続可能性 ※課題があるものは■	・当事業においては具体的な活動指標や成果指標を示すことは困難であるが、吹田市都市計画マスタープランに沿った達成状況等を分析しながら、都市空間の将来像実現に向けて、必要に応じて都市計画変更等を行うなどの検討が必要である。	継続

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
④　都市計画施設整備費積立事業	都市計画室	都市計画施設を整備する際に必要となる経費を積立てる。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成　30　年度 （千円） 1,050	□　市民ニーズ、社会的役割 □　有効性 □　効率性 □　公平性 ■　持続可能性 ※課題があるものは■	今後予定している事業を円滑に進めていくため、可能な限り基金の積立ができるように、財政状況等も勘案し、関係室課と調整していく必要がある。	継続

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
⑤　都市計画情報デジタル化推進事業	都市計画室	都市計画図や都市計画基礎調査データ等をデジタル化し、地図情報と合わせて都市計画情報を一元化管理しており、デジタル化した用途地域などの情報を市民等に情報提供している。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成　30　年度 （千円） 2,833	□　市民ニーズ、社会的役割 □　有効性 ■　効率性 □　公平性 □　持続可能性 ※課題があるものは■	・市民や事業者等からの都市計画情報に関する窓口や電話での問い合わせは多く、住所や地番で位置を確認し、情報を提供している。平成28年度からクラウドサービスを利用した検索機能のある地図情報システムの運用を開始し、システム閲覧数は毎年伸びているが、更なる市民や事業者等の利便性の向上を図りながら、窓口対応等の効率化を図る対策について検討が必要。	継続

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
⑥ 都市計画審議会運営事業	都市計画室	都市計画法上与えられた市町村による都市計画の決定及び、市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査する。また、都市計画に関する事項を関係行政機関に建議する。	事業全体が法定事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成　30　年度 （千円） 311	■　市民ニーズ、社会的役割 □　有効性 □　効率性 □　公平性 □　持続可能性 ※課題があるものは■	今後、更に幅広い世代の多様な意見を取り入れられるよう検討していく。	継続

上記以外の予算事業　※　施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課

事業名	所管室課

第4次総合計画　管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度　平成30年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成

管理事業	まちづくり計画事業	2　枚のうち　2　枚目

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
⑦ 南吹田地域まちづくり事業	都市計画室	地域特性を生かした魅力あるまちづくりを進めるため、南吹田地域のまちづくり活動団体に、アドバイザー派遣等により支援を行う。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 （千円） 182	■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 ※課題があるものは■	・南吹田駅や駅前広場など公共施設の整備に合わせ、今後のよりよいまちづくりを実現するために、まちづくり活動団体への支援を行ってきた。駅開業後についても引き続き地域への支援を行い、令和2年度（2020年度）からは「まちづくり活動支援事業」によるまちづくり活動への支援に統合する。	縮小又は再構築など

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
⑧ 近隣センター活性化再生支援事業	計画調整室	事業計画の策定や事業化検討パートナー選定等の支援のほか、オープンスペース移管に向けた庁内調整や、身近で総合的な生活支援拠点となるよう誘導を図る。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 （千円） 6,696	■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 ※課題があるものは■	・近年、アドバイザー派遣制度の活用実績がない。 ・オープンスペース引継ぎについて関係者との課題解決が必要。 ・再生・活性化に向けた組合施行の法定再開発を目指すが、地権者の合意形成を行うとともに、事業費の検証を行い、財源確保に努めなければならない。	継続

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
⑨ 千里ニュータウンまちづくり広域連携事業	計画調整室	千里ニュータウンのまちづくりについて、関係機関との連携を推進するとともに市民主導型の広域的交流事業を支援する。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 （千円） 248	■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性 ※課題があるものは■	・吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議を通じて豊中市と連携し、千里ニュータウンの再生にかかる課題解決に取り組んでいる。 ・連絡会議の共同事業として、市民団体による千里ニュータウンのまちづくりに関する取組への支援を実施している。 ・市民活動への支援に関しては、行政の要望の押し付けにならないように配慮しなければならない。また、今後も長期にわたり市民団体がまちづくりの活動ができるよう、持続可能な支援の在り方を探る必要がある。	継続

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
⑩ 都市機能検討事業	計画調整室	JR岸辺駅南側まちづくり検討業務では、土地区画整理事業について必要性等を検討する。上の川周辺まちづくり検討業務では、概略検討や事業費の整理等を行い、都市再生整備計画の作成を行う。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 （千円） 3,154	■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 ※課題があるものは■	・都市再生整備計画の採択に向けた各事業の費用・期間・課題等の整理必要。 ・検討区域に対するフォローアップが課題。 ・検討結果については、吹田市まちづくり検討委員会に報告し情報共有を図っている。	継続

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
⑪ 北千里駅周辺活性化支援事業	計画調整室	北千里駅前の地区センターにおいて、民間主導の再整備を支援する。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 （千円） 9,720	■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 ※課題があるものは■	地区センターの再生、活性化に向けた、組合施行の法定再開発を目指すが、地権者の合意形成を行うとともに、事業費の検証を行い、財源確保に努めなければならない。 また、駅前としての機能誘致をリードしていく必要がある。	継続

事業名	所管室課	事業概要（事業の具体的な内容を端的に記入）	実施区分
⑫ 都市計画マスタープラン事業	計画調整室	都市計画マスタープランの高度化版であり、都市再生特別措置法に基づき策定された立地適正化計画について、運用を行う。	市が独自に実施している事務

決算額（事業費）	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 （千円） 499	■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 ※課題があるものは■	・本計画の適正な運用に努めている。 ・5年ごとの計画進捗状況調査を令和4年度に予定。 ・平成30年度届出制度実績　都市機能誘導区域3件。	継続

上記以外の予算事業　※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課

事業名	所管室課